

## 中学生府KB野球大会 宇治KBが3位



宇治KB—京都KBク 競い合  
う両ナイン(岡崎公園野球場)

第3回ナガセケンコー杯中学生京都府KB野球夏季大会(府KB野球連盟主催)最終日は20日、京都市左京区の岡崎公園野球場でリーグ戦に続き、順位決定戦を行い、MAJOR HYOGO(兵庫)が優勝、3位決定戦は宇治KBが京都KBクラブを1-0で下した。

大会には京阪神から5チームが参加した。硬球と軟球の中間に位置するKボールを使用した大会。軟球と同じゴム製だが、重さ、大きさは硬球と同様で、軟式野球から硬式野球への移行がスムーズにできる、という。(糸井則次)

### 高校では硬式を

○:Kボールを使ったKB野球のクラブチームは府内に2チームあり、夏季大会は宇治KBが京都KBクにリーグ戦と3位決定戦で連勝した。クラブ部員は、いずれも「高校で硬式野球をやりたい」と練習に打ち込んでいる。Kボールは、軟球に比べ飛びにくく、腰をしっかり入れた打撃が求められる、守り中心になる、という。

京都KBクは府南部から集まり部員14人。南丹市などで週2回練習している。脇坂優磨主将(桂中3年)は「最初は、ぜんぜん打球が飛ばなかったが3年になってやっと飛ばようになり楽しい」と話していた。

宇治KBは宇治市と城陽市の部員17人。練習は週4回行っている。辻一貴主将(木幡中3年)は「いきなり硬球だと、肩を痛めたりするので、友達に誘われた。1年生12人が入ったので、府代表になって全国大会に出場して優勝したい」と気合を込めた。